

# 石木ダム行政訴訟へ

## 弁護団 取り消し求め年内にも

2015年10月6日  
長崎新聞 1面 中政

県と佐世保市が東彼川棚町に計画している石木ダム建設事業をめぐる、反対地権者側を支援する石木ダム対策弁護団（団長・馬奈木昭雄弁護士）は5日、国を相手に事業認定取り消しを求める行政訴訟を長崎地裁に起こすと明らかにした。年内に提訴する方針。

原告団には、反対地権者や共有地権者ら約200人が参加する予定。馬奈木団長は「河川改修や漏水防止など有効な対策があるのに、工事を強行するのは住民の人格権侵害。具体的な代替案を提示していく」と批判。反対地権者の代表格、岩下和雄さん（68）は「本当にダムが必要かを全国の人たちに問いかけてい。ふるさとを守るため戦っていく」と述べた。

弁護団はさらに原告を募り、県と佐世保市を相手に、工事禁止を求める仮処分も同地裁佐世保支部に申請したいとしている。

（緒方秀一郎）

同日、県庁で記者会見した原告・弁護団は「必要性のないダムであることを裁判を通じて訴えたい」としている。

同事業は1975年に国が事業採択。県は川棚川の治水や佐世保市への利水などを目的に2009年11

# 園田市議が出馬意向



園田 裕史氏

## 大村市長選

取材に対し、松本崇市長の死去に伴う大村市長選（11月1日告示、同8日投票）に無所属で立候補する意向を明らかにした。同市長選で態度を明らかにしたのは園田氏が初めて。近く正式

園田氏は松本市政の行財政改革を評価した上で「長期政権によってしがらみが生まれたのも事実。市民のために公平で説明責任が果たせる政治を始めたい」と語り、「すでに着手した事業はスピードを上げて進め、見直すべき事業は市民の声を聞いて見直し、市民とともに新しい大村市をつ

週間天気  
7(水)  
10

水や空  
2015・10・6  
神

史上初の重賞豊騎手▲100万の勝利は、た枕詞に、才騎手は今も実な期待をこちの結果で才能はどんな高年の星には多いようは9月で45歳なり、主要な位は揺るがない後がない臨む▲野球の誕生日。日本。メジャー。季最終戦には歴に驚きのローに自

# 「知事 逃げてるだけ」



## 石木ダム 行政訴訟へ

「知事は逃げ回っているだけ」「ばかにするな」。石木ダム建設事業をめぐる反対地権者の弁護士が国を相手に行政訴訟を起こす方針を明らかにした5日、地権者らは県庁で中村法道知事との面会を求めたが、知事本人が姿を現さなかったため県側の対応に怒りの声を上げた。

県庁別館の一室で、あくまで知事との面会を求める地権者と、所管課で対応しようとする県職員が対峙(たいじ)。時計の針が面会の予定時間だった午後4時10分を回り、地権者が叫んだ。「知事はどうした」。さらに「人の土地を強制的に取り上げようとしている

のになぜ知事が直接説明しないんだ」と県職員に迫った。事前に提出されていた質問に対し、肅々と説明を進めようとする県職員の声は、知事からの直接の説明を求める反対派の怒声に何度もかき消された。

石木ダム対策弁護団の馬奈木昭雄団長は、諫早湾の潮受け堤防排水門の開門を求め訴訟の弁護士も務めており、諫早問題に絡め「県は諫早では(開門の)確定判決に従っていないのに、石木ダムでは(工事現場前の通行妨害禁止)仮処分に従えと言っている。二枚舌だ」と批判。石木ダム建設絶対反対同盟の岩下和雄さん(68)は「家を取り壊

されても、掘っ立て小屋を建てたりして絶対立ち退かない。そこまでの覚悟があるか」と強い口調で県側に訴えた。

議論は最後までかみ合わなかった。知事との面会を再度求められた県職員は「意見は知事に伝えます」と述べるにとどまった。

(熊本陽平)

# 巨人・福田投手 野球賭博

## 球団警察へ届け出検討



巨人・福田聡志投手

プロ野球巨人の久保博球団社長は5日、東京・大手町の読売新聞本社で記者会見し、福田聡志投手(32)が野球賭博に関与していたと発表した。同僚の笠原将生投手(24)から紹介された知

日本野球機構(NPB)によると、1969年に発覚した八百長行為で現役選手が永久追放処分を科された黒い霧事件」が起きて以降、野球協約で定められている野球賭博などの有罪行為が処分が下されたことはない。不正排除に努めてきた球界のイメージ低下は避けられない状況になった。

## 県謝

在外被爆者 被爆者援護法に外被爆者に医療費給すべきとした案を受け、韓国人を故人への支給金を取り消した旨3人の遺族に謝罪、原爆被爆者援護法に派遣する韓国人に謝罪する方針だ。



フジヤマジョージ



宴会・パーティー・会議に最適!  
ご予約承り中  
095-844-2121

長崎新聞文化ホール  
Aspia  
長崎市茂原町3-1

野球、米大リーグの試合を対象に賭けをしていた。球団は刑法の賭博罪に当たる疑いがあるとして警察への届け出を検討している。両投手に謹慎処分を科しているが解雇もあり得るとし

【23面に関連記事】  
下村博文文科相は超党派のスポーツ議員連盟が検討を進めてきたスポーツ振興くじ(サッカーくじ)の対象をプロ野球に広げる構想に否定的な見解を示し

巨人による。知人から球団が貸した金を返す触があり発覚。した弁護士が男に8月初旬甲子園大会の進めを行った。そうと9月初旬球と大リーグのそれぞれ10試合、巨人の試合は3最終的に百数十人になっていったとい